

図書館だより 第2号

2021.7.1 狛江高校図書館

新しい本が入りました！ ※別紙一覧表をご覧ください。



『万葉集 東歌』に関する資料を展示。巻十四・三三七三に詠まれた「多摩川に曝す手作さらさら」に何ぞこの児のこころだ愛しき」について、その歌碑が狛江市中和泉に建っていることもわかります。

『哲学人生問答』 岸見 一郎 (講談社)

高校生と哲学者による人生問答。「生きていくこと」「幸福になること」についての高校生からの相談に、哲学者が答える。知恵を授けてくれる一冊。



『小説8050』 林 真理子 (新潮社)

息子が部屋から出なくなって7年。このままでは、家族は崩壊へ。「引きこもり100万人時代」の中で日本について語る再生の物語。



『地図づくりの現在形』 宇根 寛 (講談社)

近代日本の地図づくりは、どんな技術で、いつ始まったのか。明治政府が始めた2万5000分の1地形図がほぼ網羅したのは二〇世紀後半のこと。三角測量・空中写真から衛星・デジタル化による測地術の進化、高度な技術による新しい地図づくりの現在を解き明かす一冊。



7月に入り暑い日が続いておりますが、もう少しで夏休みです。

夏季休業期間の無制限貸出が始まります！

ぜひ図書館を利用し1冊でも多くの本を読んでみて下さい。読書で夏休みの過ごし方が変わるかも。本は一腹の清涼剤！！

- 貸出冊数無制限期間：7月12日(月)～8月31日(火) (夏季休暇中も可) 返却期限 9月1日(水)
- 図書館は飲食禁止です。暑い季節ですが、ペットボトルや水筒は栓を閉めて、カバンなどに収納してから入館してください。水分補給は、図書館から退館し廊下等で飲んでください。

7月のカレンダー (変更になる場合があります) ※グレーは休館

日	月	火	水	木	金	土
				7/1 期末考査	2 期末考査	3
4	5 期末考査	6 期末考査	7 実力テスト	8 実力テスト(3)	9	10
11	12 無制限貸出開始	13	14	15	16 避難訓練 終業式	17
18	19	20 終業式 避難訓練	21 夏季休業日(始)	22 (海の日)	23 (スポーツの日)	24
25	26	27	28	29	30	31

『発酵文化人類学』 小川 ヒラク (角川文庫)

発酵デザイナーの著者は、「見えない発酵菌たちのはたらきを、デザインを通して見えるようにする」ことを目指し、全国の醸造家たちと活動。酒、味噌、醤油、麹、イースト等々、発酵をテーマに、その起源と利用について解説。



『戦士の食卓』 落合 博満 (岩波書店)

三冠王を三度、監督として四度のリーグ優勝という大記録を達成。その背景には、落合流の「食の哲学」と、夫人の創意工夫があった。野球人としての心と体の原動力が明らかになる一冊。



読書感想文課題図書の中から

第67回青少年読書感想文全国コンクール 高校部門
主催：全国学校図書館協議会・毎日新聞社

『兄の名は、ジェシカ』 ジョン・ボイン【著】 原田 勝【訳】 (あすなろ書房)

4歳年上のジェイソンは、サッカー部のキャプテンで、学校では人気者の、僕の自慢の兄だけど、ある日家族に「自分は女だ」と告白する。



生物学的な性、社会的な性、そして本人が自覚する性の問題を、家族4人を通して、誠実に、そしてコミカルに描いた作品。

『水を縫う』 寺地 はるな (集英社)

「男なのに」刺繍が好きな弟の清澄。「女なのに」かわいいものが苦手な姉の水青。「愛情豊かな母親」になれなかったさつ子。「まっとうな父親」になれなかった全と、その友人・黒田。「いいお嫁さん」になるよう育てられた祖母・文枝。普通の人なんていない。普通の家族なんてない。世の中の「普通」を越えていく、家族の物語。



『科学者になりたい君へ』 佐藤 勝彦 (河出書房新社)

宇宙の果て、生命の謎、コンピュータ等々、サイエンスに関心を抱き、科学者を目指す人へ科学の原点から、大学・大学院での学び、研究者としての活動や人材の育成、そして21世紀の科学者について、新たな見方で語る一冊。



学習支援図書の中から

『東大女子のノート術』 みおりん (エクスア出版)

人気のYouTubeチャンネルを書籍化。定期テストから受験まで、東大に合格した著者が教える、ノート勉強法。



『世界史は化学でできている 絶対に面白い化学入門』 佐卷 健男 (ダイヤモンド社)

化学が人間の歴史にどのように影響を与えてきたかを解説。化学という学問の知的探求とともに、人間の夢や欲望を形にして来た実学としての側面についても、図解、イラストを用いて説明。

